

9-28
JUNE 2025

Amer Nasser
Palestinian photographer and filmmaker, born in 1991 in Gaza, is known for producing and directing films that depict the reality of Palestinian refugees and the political, social, and economic situation of Palestinians in Gaza.



PHOTO: Amer Nasser

Amer Nasser GAZA. SIGNAL OF LIFE

アメル・ナーセル写真展 ガザ.シグナル オブ ライフ

〔会期〕 2025年6月9日（月）～6月28日（土） 日曜休館

〔時間〕 9：30～16：30（入館は16:00まで）

〔入館料〕 大人400円、中学生・高校生300円、小学生200円

〔会場〕 立命館大学国際平和ミュージアム 1階企画展示室

障害者手帳・被爆者健康手帳・戦傷病者手帳をお持ちの方
（付添の方も1名含む）、立命館で学ぶ人・働く人は無料。
JAF会員証提示の場合、1枚で5名まで50円引き。



立命館大学国際平和ミュージアム

Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University

<https://rwp-museum.jp>

主催：ガザ.シグナル オブ ライフ実行委員会

後援：立命館大学国際平和ミュージアム



Amer Nasser (アメル・ナーセル) プロフィール

ガザ出身のパレスチナ人写真家・映画監督。パレスチナ難民の現実や、ガザにおけるパレスチナ人の政治的・社会的・経済的状況を描いた映画を製作・監督。ドバイ国際映画祭やカンヌ国際映画祭に正式出品。

UNRWA（パレスチナ難民のための国連機関）チャンネルのプロデューサーを務める。2016年、プロデュース作品『Paper Boat』がパリのアラブ世界研究所で開催されたPalestIn&Out Festivalで最優秀作品賞を受賞。2024年 東京藝術大学にて日本初の展覧会『GAZA.SIGNAL OF LIFE』展（共催：東京藝術大学大学院 国際芸術創造研究科 毛利嘉孝研究室）、2025年 日本外国特派員協会にて同展覧会を開催。

ガザ北部の深刻な人道危機の中、アメルは爆撃により自らの表現手段であるカメラやコンピュータを失いました。爆撃と飢餓の中、手元に残されたスマートフォンでガザの映像や写真をソーシャルメディアに投稿。世界に向け発信された映像は、インターネットが繋がりにくいガザからの生命の信号そのものです。彼の作品は、厳しい現実の中で生を営む人々の様子を静謐に捉えています。その信号を受け取った私たちは、それを世界に広めたいと考えています。



MORE INFORMATION

SNSで最新情報を発信中

2025年6月29日（日）京都市のVIVA LA MUSICA!で関連イベントを開催予定。詳細はSNSでチェック。

INSTAGRAM



X



THREADS



アメル監督グッズ販売中

アメル監督と制作したグッズをオンライン限定販売中。QRコードから詳細をご覧ください。



SHOP



東京藝術大学での
展示風景

「アートを通してガザの回復力を表現します。
その物語の一部を身につけ、広めてください。」
by Amer Nasser